

令和4年第4回定例会(12月議会)の概要



中津市議会議員 大塚正俊



令和4年第4回定例市議会(12月議会)は、11月28日から12月23日の26日間開催されました。令和4年度一般会計補正予算等の予算議案4件、条例議案 5件、その他議案 4件、人事案件 6件、報告案件 1件、請願 3件、意見書3件の計 26件が上程され、請願 2件を否決し、それ以外の議案は原案通り可決しました。

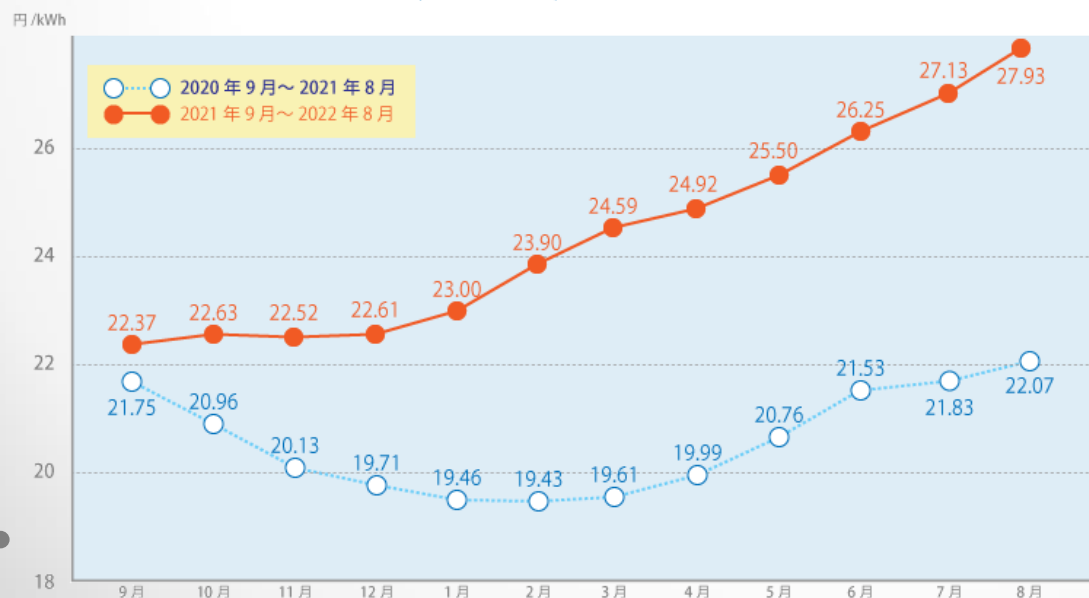
令和4年12月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 令和4年度一般会計補正予算(第5・6・7号); 補正額4億9,145万円(補正後予算額464億3,449万円)

□市施設の光熱費；6,910万円

- ・エネルギー価格の高騰による市施設の今後見込まれる光熱費を増額補正
- ・庁舎1,930万円、小中学校小学校3,293万円、小幡記念図書館1,327万円、公民館1,365万円等

低圧（従量電灯）の電気料金の推移



出典：一般社団法人エネルギー
情報センター「新電力ネット」

□コミュニティバス運行事業（深水乗合タクシー）；164万円

- ・利用件数及び運行便数の増加（20%増）に伴う増額補正



三光深水乗合タクシー

□防犯カメラ設置費補助金事業；122万円

- ・地元で整備する防犯カメラ設置費用に対する補助金の申請件数の増（3地区）に伴う増額補正
- ・補助の上限50万円/地区

□出産・子育て応援交付金；9,192万円

- 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、妊娠や出産を届け出た妊婦等に対し応援金の給付を行う（令和5年1月申請書発送、2月支給開始予定）
- 給付額；妊娠届出時に5万円＋出産届出時に5万円
※多生児の場合は、妊娠届出時に5万円＋出産届出時に5万円×出生数を給付
※令和4年4月1日から令和5年1月までの間に出産した子育て世帯には10万円を一括支給
- 給付対象 令和4年4月1日以降に市に届け出た妊婦・子育て世帯
- 財源；国2/3、県1/6、市1/6



□障害児通所給付事業；5,367万円

- ・障がいのある児童（18歳未満）が各種サービスを受けることによって、その能力や適性に応じて、地域で自立した日常生活や社会生活を営めるよう支援
- ・事業所数・利用者数の増に伴う増額補正（財源；国1/2、県1/4、市1/4）



□予防事業（新型コロナウイルス対策関連）；3,109万円

- ・10月3日からオミクロン株対応ワクチンの接種を開始したことに伴う増額補正
- ・対象者：12歳以上：47,000人、5歳～11歳（小児3回目）：1,000人、生後6ヶ月～4歳（乳幼児）：2,800人

□送迎用バス安全装置確保推進事業；80万円

- ・ 保育所等のバス送迎時に園児の安全を確保するため、保育所等が行うバスの安全装置整備に対し助成する（20万円/台）
- ・ 支給対象 私立保育所、認定こども園（2園・4台）、幼稚園型認定こども園等は県が直接補助（2円4台）
- ・ 財源；県10/10

ホーネット車内置き去り防止システム イメージ

①ヒューマンエラー防止

見回りながら後部に設置したリモコンボタンを押してブザーを止めます。



②カーセキュリティで見守り

車内センサーが人の動きや振動を検知してアラームでお知らせします。



□観光事業；96万円

- ・この補助金は、中津市内で宿泊を伴う大会、研修会、合宿等（スポーツ、福祉、文化、教育等様々な大会、合宿等）の主催者に対して補助金を支給するものです。例えば、大会参加者等の市内宿泊延べ人数が20人以上50人未満の場合、主催者に3万円を支給することとなっています。
- ・利用者の増に伴う増額補正

中津市で大会・合宿をしませんか？

中津市で大会・合宿を行うと

「中津市スポーツ、福祉、医療及び教育文化等大会開催補助金」
が利用いただけます。

スポーツ大会や研修会だけでなく、ゼミやクラブチームなどの合宿も対象になります。
この制度を活用して、ぜひ中津市で大会や合宿を行いましょう！

(1)対象になる大会・合宿及び

- ①中津市内で宿泊を伴う大会等（スポーツ、福祉、文化、教育等様々な大会）を主催する方。
 - ②中津市内で宿泊を伴う合宿（スポーツ、福祉、文化、教育等様々な合宿）を行う方。
- ※ただし、当補助金とは別に中津市から補助金やこれらに類するような助成を受ける団体、他市で開催される大会や営利を目的に開催される大会などは除きます。

(2)補助金の額

①大会参加者等の市内宿泊延べ人数が

500人以上	30万円
400人以上 500人未満	27万円
300人以上 400人未満	21万円
200人以上 300人未満	15万円
100人以上 200人未満	9万円
50人以上 100人未満	4万5千円
20人以上 50人未満	3万円

②合宿参加者等の市内宿泊延べ人数が

1,000人以上	44万円
900人以上 1,000人未満	42万円
800人以上 900人未満	37万円
700人以上 800人未満	33万円
600人以上 700人未満	28万円
500人以上 600人未満	24万円
400人以上 500人未満	19万円
300人以上 400人未満	15万円
200人以上 300人未満	11万円
100人以上 200人未満	6万円
50人以上 100人未満	3万円
20人以上 50人未満	2万円



□市町村営急傾斜地崩壊対策事業；2,380万円

- ・山国町中摩・奥畑地区の急傾斜地崩壊対策工事の追加に伴う増額補正



山国町中摩奥畑地区の急傾斜地

□県急傾斜地崩壊対策事業負担金；1,225万円

- ・県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対する市負担金
- ・本耶馬溪町道の上地区、耶馬溪町深耶馬溪地区、乙渕ノ上地区、奥ノ鶴地区

□おおいた園芸産地づくり支援事業；456万円

- ・電気料金高騰下における電照施設園芸農家の経営安定を図るため、LED照明の導入を支援する
- ・支給対象 4軒（園芸品目；イチゴ、大葉、トルコギキョウ）
- ・財源；県1/3 市1/3



三光イチゴ電照ハウス

□債務負担行為（プラスチック資源化処理委託料）

；3,267万円

- ・令和5年度プラスチック資源化処理に係る債務負担行為
- ・容器包装プラスチックに加え、令和5年4月から新たに製品プラスチックの資源化を開始（現行の資源プラと一緒に製品プラを回収）
- ・回収する製品プラスチックは、プラスチック製のみの製品に限る（鎌倉市の右例を参照）



□債務負担行為

(土地開発公社の借上金及び利子に対する債務保証)

；3億5,500万円

- ・中津市土地開発公社が行う米山公園用地取得造成事業の借上金及び利子に対する債務保証（令和9年度まで）



中津市都市計画総括図

2. 条例の改正【抜粋】

□中津市個人情報保護条例の全部改正について

- ・個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、法律の施行に関し必要な事項を定めるもの

□中津市職員の定年等に関する条例の一部改正について

- ・地方公務員法等の一部改正に伴い、職員の定年の段階的な引上げ（60歳⇒65歳）、年齢60年を超える職員に係る給与（60歳時点給料の70%）及び退職手当に関する特例措置等に関し必要な事項を定めるもの

□中津市体育施設条例の一部改正について

- ・ 耶馬溪海洋センターに簡易宿泊施設（最大130名収容）としての機能を付加することに伴い、新たに使用時間及び休日並びに使用料（50名宿泊の場合1,760円/人・泊）を設定するもの

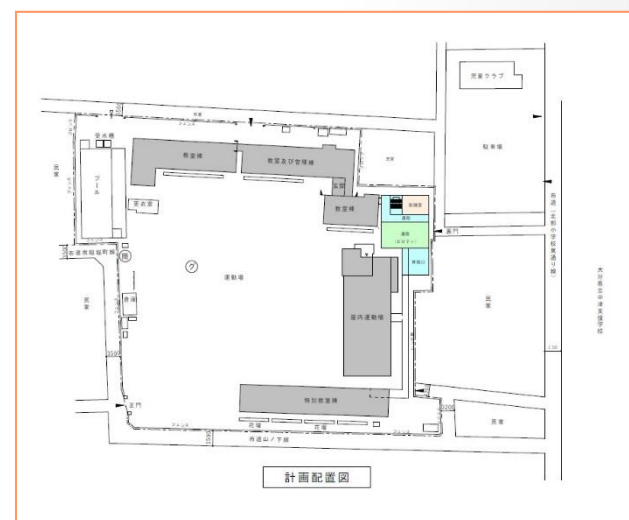
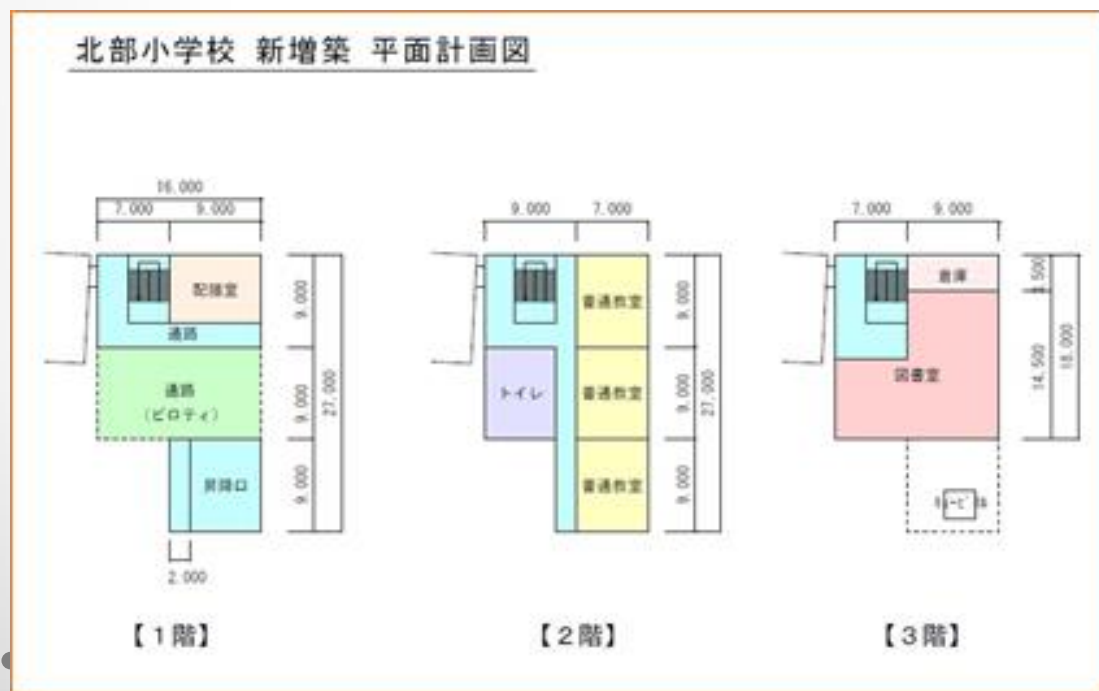


海洋センターの簡易宿泊施設

3. 工事請負契約の締結

□北部小学校校舎新增設工事

- ・ 契約金額；2億3,870万円
- ・ 工事内容；建築一式工事 構造 鉄筋コンクリート造3階建、延床面積1,005m²、普通教室（3室）、図書室、配膳室、昇降口
- ・ 契約者；伊藤・立石建設工事共同企業体
- ・ 工期；令和5年11月末



4. 請願

①家庭ゴミ無料収集の復活を求める請願書【不採択】

【反対の理由】

きちんと分別すれば、ごみ袋有料化に関しては生活に大きく影響しているとは思われません。他市のごみ袋有料化の状況を見てみると中津市よりも高い金額で導入している自治体もあり、ごみ減量・環境対策に向けて市民意識も高まっていると認識しています。

中津市も有料化が始まったばかりで、これを見直すには時期が早いと考えます。

②消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書を国に提出することを求める請願【採択】

【賛成の理由】

中小零細な自営業者に多大な負担を強いる消費税のインボイス制度の実施は当面延期すべきである。

③小中学校給食費の無償を求める請願書【不採択】

【反対の理由】

学校給食は、食育を行う時間として教育課程に位置づけられており、義務教育は無償とするという考え方には賛同できますが、約3億円の財源をどこから持ってくるのかということを考えると、慎重であるべきだと思います。

義務教育として無償化を求めていくのであれば、中津市だけではなく、国の責任として実施されるよう、学校給食法第11条の改正や予算の確保を国に働きかけていくことが第一だと思います。

まずは、中津市も物価高騰のなかで、保護者の負担が増加しないように補填をしているところであり、今後この状況が長引いたときに、来年度以降も給食の質を落とさないように強く求めていくことが重要であると考えます。



5. 意見書

①小児・若年世代への在宅療養等支援助成を早期に求める意見書【採択】

- ・若年がん患者への在宅療養支援助成事業（妊孕性温存治療、医療用ウィッグ購入費用、在宅医療支援等）の実現を早期に強く求める。

②第9期介護保険制度改正に関する意見書【採択】

- ・様々な経済状況等に鑑み、介護保険サービス利用料については、負担増を行わず、原則1割負担を維持すること。
- ・地域支援事業の体制が必ずしも十分でない現状から、要介護1及び2の介護サービスの地域支援事業への移行は行わないこと。
- ・サービスの利用促進のため、ケアプラン作成料は全額給付を維持すること。
- ・様々な経済状況を鑑み、引き続き低所得者への負担軽減を継続し、上記三施設の多床室室料は新設しないこと。

③消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書

【採択】

6. 自由討議

(1) 森林環境について

(補足説明者：松葉 民雄 議員)

- ①森林環境税の使い方
- ②人材の育成及び確保
- ③鳥獣被害対策

【私の主張】

令和3年度一般会計決算では、国からの森林環境譲与税は7,609万円で森林の整備や人材の育成及び確保、木材利用、普及啓発事業、基金積立等に活用されています。耶馬の森林活性化基金として1億3211万円が積立されており、建設中の耶馬溪公民館をオール中津市産材で建築し、その財源に活用してはどうかと考えます。

また、毎年9000万円前後の森林環境税が国より交付される予定となっており、国土調査を10年間で終了できるよう集中的に投資すべきと考えます。



(2) 中津はコロナ禍をチャンスにできるか。チャンスにするにはどのような取り組みが必要か。

(補足説明者：本田 哲也議員)

- ①これからの新型コロナ感染症との付き合い方は。
- ②日本は“訪れたい国1位”これからのインバウンド対策は。
- ③個人消費を増やしていくには。
- ④人口成熟が深刻な問題だが、その先の対策は。
- ⑤高齢化に強いのは都会か、世界か、中津か

【私の主張】

大型観光バスによる団体旅行は終焉を迎え、これからは個人利用にシフトしていくと考えます。観光客が何万人来場したではなく、何万円消費したか、どれだけ経済波及効果があったかを見ていく必要があります。

1000円／人の消費ではなく、10万円／人の消費を促す旅行商品を開発した方が環境にも優しいと考えます。大河ドラマ「軍師官兵衛」ではたくさんの観光客が訪れて頂きましたが、中津にお金を落とさずに交通渋滞を招いた苦い経験があります。

例えば、大分空港からチャーターヘリで耶馬溪町に移動し、アクアパークを貸切った水上スキーと宿泊をセットにした50万円／泊・人のツアーなどの企画ができないかと考えます。

これからはすべての商売において、薄利多売から高利小売路線へと転換していく必要があると思います。



最後までお読みいただき、ありがとうございました。

“市議4期目の挑戦に向けて”

長引くコロナや度重なる災害への対応、少子高齢化、過疎化などの課題を抱える中津市。
新たな切り口で、中津の発展モデルを創り出すことは、今を生きる私たちの未来に対する責任です。
今こそ、一人ひとりが、元気と知恵を出して、将来に夢と希望をもてる中津を創りましょう。
くらし・いのち・みらいを守るため、私も頑張ります。

中津市議会議員 大塚 正俊



編集後記（ひとりごと） 3期12年間、同じ会派で市議会議員と一緒に務めてきた吉村市議が県議選に挑戦することになりました。同い年で30年来の付き合いのある親しき友です。彼にはぜひ当選して、県政でも頑張っていたきたいと期待しています。（まさとし）